

第 21 回国際科学技術関係大臣会合について

“The 21st Science and Technology Ministers’ Roundtable”

1. 日時：令和 6 年（2024 年）10 月 6 日（日） 12:10～14:50
2. 場所：国立京都国際会館 アネックスホール
3. 出席者：世界 19 ヶ国の科学技術大臣等（日本を含む：別紙参照）
4. テーマ：イノベーションエコシステムと科学技術政策の深化
5. 結果概要：
 - （1）城内科学技術政策担当大臣が会議の議長を務めた。冒頭、城内大臣から出席各国に対し挨拶を行い、気候変動問題等のグローバルな課題への解決や、生成 AI などの先端技術の適切な社会実装を進めていくためには、国際連携が不可欠である旨、発言した。そして、本会合においては、「イノベーションエコシステムと科学技術政策の深化」をテーマに、各国において目指しているイノベーションエコシステムやその実現のための政策、また、国境を越えたイノベーションエコシステムの連携の在り方について意見交換したい旨、説明した。
 - （2）小宮山 STS フォーラム理事長からの挨拶の後、柿田科学技術・イノベーション推進事務局統括官より、本会合のテーマの背景と概要等以下を紹介した。
 - 世界中でスタートアップが急成長し、産業構造のみならず都市構造やライフスタイルにも変革を及ぼす大きな潮流が見られること
 - こうした中で、日本では、社会課題の解決や社会変革へ挑戦するスタートアップが次々と生まれ、新たな価値が連続的に創出される社会を目指していること
 - こうしたイノベーションエコシステムを形成するため、「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」や「グローバル・スタートアップ・キャンパス構想」等に取り組んでいること
 - （3）上山総合科学技術・イノベーション会議議員による進行のもと、本会合のテーマに沿って、出席国における取組等について意見交換が行われ、起業人材の育成、大学・研究機関からの知識移転や事業化の支援等、各国・地域のイノベーションエコシステムに関する様々なアプローチが共有された。

(4) 上山総合科学技術・イノベーション会議議員から意見交換の総括が行われた。

(5) 最後に城内大臣から閉会挨拶が行われた。

(別紙)

第 21 回国際科学技術関係大臣会合出席者一覧
2024 年 10 月 6 日 (日) 12:10-14:50 (日本時間)

No.	国	氏名	役職
1	ブルガリア	ニコライ・ヴィタノフ	文部科学副大臣
2	カナダ	ミッチ・デビス	国立研究評議会会長
3	キプロス	ニコデモス・ダミアヌ	研究・イノベーション・デジタル政策副大臣
4	エストニア	レノ・ヴェインタール	教育研究次官
5	欧州連合	マリア・クリスティーナ・ルツソ	欧州委員会局長
6	フィンランド	サリ・ムルタラ	科学文化大臣
7	ドイツ	イエンス・ブランデンブルグ	連邦教育研究政務次官
8	イタリア	マリア・キアラ・カロツツァ	イタリア国家研究評議会会長
9	日本	城内 実	内閣府特命担当大臣 (科学技術政策担当)
10	大韓民国	ユ・サンイム	科学技術情報通信大臣
11	リビア	サーレフ・アルグール	高等教育・科学研究次官
12	リトアニア	ユスタス・ヌガラス	文部科学スポーツ副大臣
13	マレーシア	ダトハジ・モハンマド・ユソフ・ビン・アプダル	科学技術・イノベーション副大臣
14	カタール	イブラヒム・アルナイミ	教育・高等教育次官
15	ルーマニア	ボグダン・ドゥメア	研究・イノベーション・デジタル化次官
16	スロベニア	イゴル・パピッチ	高等教育・科学・イノベーション大臣
17	タイ	スパマス・イサラバクディ	高等教育・科学・研究・イノベーション大臣
18	トルコ	イスマイル・ドアン	科学技術研究会議副会長
19	英国	デービッド・スミス	科学技術・イノベーション省国家技術顧問

※氏名・役職名は仮訳